

2017 えがお愛顔つなぐえひめ国体



第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え



TEAM FUKUOKA

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

NEWS

10月9日 Vol.8

第72回国民体育大会 「Team福岡」正念場！！



ボクシング競技 実力発揮！！ 田中選手 3位入賞！ 川谷選手 決勝進出！！



8日（日）、松前公園体育館で行われたボクシング競技の準決勝、福岡はピン級に田中湧也選手、ライトフライ級に川谷剛史選手が出場した。

今年のインターハイで準優勝を果たした田中選手の相手は、千葉の片岡選手で、奇しくもインターハイの準決勝と同じ顔合わせとなった。試合は、序盤から激しい打ち合いにより一進一退の攻防、最後まで果敢に挑んだが、判定の結果、わずかに力及ばず敗退した。インターハイの雪辱を許す形となってしまったものの、僅差の戦いにより価値ある3位入賞を果たした。

川谷選手は本大会5戦目となる準決勝、疲労を感じさせることなく徐々に調子を上げて臨み、対戦相手の香川にも磐石の試合運びで圧勝、今年のインターハイ王者の貫録を見せ、決勝に駒を進めた。昨年の一戦敗退の悔しさを晴らすべく、インターハイとの2冠達成に期待したい。

ウェイトリフティング競技 柳田瑞季選手、日本代表を手中に！

ウェイトリフティング競技成年女子-53kg級に、柳田選手が出場。本来、-48kg級の柳田選手がこの階級にエントリーしたのは、2017世界選手権の代表を併せて勝ち取るためだ。世界選手権の選考対象となる7つの大会のうち、国体が最後の選考大会である。しかし、国体には-48kg級がないため、体重を増加させずに出場し、-48kg級選手としての記録を狙った。結果は、スナッチ75kg、クリーン&ジャーク91kg、トータル166kg。国体では-53kg級選手として4位入賞、世界選手権選考会としては-48kg級選手の中で最上位につけた。国体終了後に行われる選考を経て、世界選手権の切符が届けば、女子では、本県初の快挙となる。



ソフトテニス競技 少年男子 第4シードを追い詰めるも、惜敗！

ソフトテニス少年男子チームは、大牟田高校中心のチームで2回戦の相手は第4シードの島根。第1ゲームのダブルスでは、山見選手の正確なストロークや横田のボレーが次々と決まり、ベンチと応援団が一体となって盛り上げた。第1ゲームを4対1で制して臨んだ第2ゲームのシングルス、山口選手が奮闘するも2対4で破れ、勝負は最終ダブルス戦へ。フットワークのよい苗代澤選手と、チーム唯一の東福岡高校の浅尾選手は、試合序盤から相手の勢いに苦戦し3セットを連取されたものの意地を見せる。



監督の作戦指示が飛ぶ中、第4、5セットを連取するも、最後は島根に惜敗した。比較的有利と感じた序盤の展開から、一気に流れが変わる瞬間を目の当たりにし、勝つことの難しさを痛感した。

柔道競技 成年男子 見事入賞！！

成年男子柔道競技は、秋田との2回戦に4対0で勝利し、続く地元の愛媛との準々決勝、先鋒、次鋒と先取され後がない中、次の中堅戦は全日本強化選手である本県の佐藤選手と愛媛の世界選手権金メダリスト中矢選手が対戦、互いに一步も引かない展開が続いたが、先に2勝されている試合展開から、佐藤選手が積極的な攻めに転じた。試合終了のブザーと同時に豪快な背負投げが炸裂、会場に大きなどよめきが生じる中、審判の判定は終了後の技として無効、惜しくも引き分けとなった。残念ながら副将が敗退、チームとしての勝負は決まったものの、大将の松雪選手は最後まで攻め続け、大外刈で一本勝ち、福岡の最後まで諦めない姿勢にチームから大きな声援と拍手がおこった。

佐藤選手は「勝ちたかった、悔しい、中矢選手に組手でうまく捌かれた」と自己の試合を分析し悔しさを滲ませていた。明日行われる女子の試合にも期待がかかる。



＜試合に臨む様子＞



＜熾烈な組み手争い＞

銃剣道競技 成年男子 諦めない姿勢！ これぞチーム福岡！



＜試合の様子＞

2回戦からの登場となった銃剣道成年男子の相手は静岡県。先鋒板倉選手が判定負け、中堅江口選手も敗退しチームとしての勝敗は決した。大将戦、監督兼任の吉田選手は一進一退の手に汗握る攻防の終盤、鮮やかな一本が立て続きに決まり、一矢を報いた。敗戦後、アップ会場に戻った選手たちの、休むことなく突きの練習を繰り返す姿が印象的であった。次年度以降の更なる強化を期待したい。

Team 福岡の現在状況と今後の展望

8（日）現在、ついに千葉に逆転を許して8位となった。また、9位につけている福井との差も14.5点と非常に僅差である。総合成績8位以内に入賞した年は、少年種別団体競技の活躍が大きかったが、今大会では、序盤に強豪都府県と対戦することが多く、善戦しながらも入賞できていない傾向が見られる。9日（月）には、福井の得意種目で昨年約200点を獲得したボートの決勝が残されており、逆転される可能性も否定できない。しかし、6位の愛知との差もまた約30点と小さく、福岡もボクシング少年男子で決勝に進出するなど、残された競技の結果次第では、6位以内に入る可能性も考えられる。

長きにわたって繰り返された熱い戦いも、いよいよ残り2日となった。これまで、たくさんの競技の奮闘により、現在8位に位置している。この順位を死守すべく、これまでの競技の熱き想いを繋いで、残りの競技で活躍してくれることに期待したい。

男女総合成績（天皇杯）		10月8日終了現在	
順位	都道府県名	得点	昨年度順位
1位	東京	2101.5	1位
2位	愛媛	2028	7位
3位	大阪	1522	6位
4位	神奈川	1520	8位
5位	埼玉	1400.5	3位
6位	愛知	1346.5	4位
7位	千葉	1342.5	5位
8位	福岡	1318.5	13位
9位	福井	1304	18位
10位	北海道	1222	9位
11位	兵庫	1161	11位
12位	京都	1157.5	12位
13位	岐阜	1098	30位
14位	岩手	1050	2位
15位	広島	1031.5	14位
16位	長野	995.5	19位

【各競技入賞者】（10月8日終了時点）

競技名	種目	名前	所属	順位
陸上競技	少年男子800m	竹本 運	泉中学校	8位
陸上競技	少年女子共通400m	上田 百寧	中村学園女子高等学校	5位
陸上競技	成年女子三段跳	栞見 咲智子	九電工	6位
バレーボール	成年男子			7位
体操競技	成年男子団体総合	村岡・中原・内田・鎌田・友廣		6位
レスリング	少年男子フリースタイル60kg級	田邊 真大	小倉商業高等学校	5位
レスリング	少年男子フリースタイル96kg級	本木 臣代士	小倉商業高等学校	3位
レスリング	成年男子フリースタイル57kg級	有延 大輝	福岡県レスリング協会	5位
レスリング	成年男子フリースタイル74kg級	杉本 京介	東鷹高校教	5位
レスリング	成年男子フリースタイル125kg級	田中 章仁	三井高校教	5位
柔道	成年男子	柴田・奥・佐藤・黒岩・松雪		5位
ウエイトリフティング	少年男子69kg級スナッチ	前田 風歩	八幡中央高等学校	3位
ウエイトリフティング	少年男子69kg級クリーン&ジャーク	前田 風歩	八幡中央高等学校	3位
ウエイトリフティング	少年男子69kg級トータル	前田 風歩	八幡中央高等学校	3位
ウエイトリフティング	少年男子77kg級クリーン&ジャーク	藤山 峻輔	八幡中央高等学校	6位
ウエイトリフティング	女子-53kg級スナッチ	柳田 瑞季	九州国際大学職	4位
ウエイトリフティング	女子-53kg級クリーン&ジャーク	柳田 瑞季	九州国際大学職	4位
ウエイトリフティング	女子-53kg級トータル	柳田 瑞季	九州国際大学職	4位
空手道	少年男子組手個人	井上 教智	東福岡高等学校	5位
ボクシング	少年男子ピン級	田中 湧也	博多高等学校	3位

国体の情報については、大会ホームページ（<http://www.ehimekokutai2017.jp/>）より、ご覧ください。

※Facebook においても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係